



報道発表

2020年6月1日

ファイメクス株式会社への投資実行について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美 公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業であるファイメクス株式会社（以下「ファイメクス社」）（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：富成 祐介）に対する投資を実行いたしましたので報告します。

○今回の投資の概要

ファイメクス社は、タンパク質分解を作用機序とした新規医薬品の研究開発を進める創薬ベンチャー企業です。これまでに、ユビキチン-プロテアソームシステムの構成要素である E3 リガーゼに結合する独自の低分子を取得し、さらに独自のノウハウと Diversity Oriented Synthesis により迅速にタンパク質分解誘導剤を創出するための創薬基盤技術 RaPPIDS™ (Rapid Protein Proteolysis Inducer Discovery System)を構築しています。これらの技術基盤を基に、これまで“undruggable（創薬困難）”とされてきたがん疾患に関連するタンパク質を標的とした複数の First-in-class の開発プログラムを進めています。また、ファイメクス社は、京都大学大学院医学研究科（金 玫秀特定准教授）と共同研究を実施しており、がんや感染症にかかわる新薬の開発を試みています。ファイメクス社は RaPPIDS™を活用し、今後、国内外の有力な研究機関や大手製薬企業との共同研究の実施を促進させ、世界の患者さんとそのご家族へ新たな医薬品の提供に貢献したいと考えています。

京都 iCAP は、ファイメクス社が開発するタンパク質分解誘導剤が、治療手段がない患者さんへの新たな治療手段となる可能性、及び独自のプラットフォーム技術を通じて人々の健康に貢献しようとする方針を高く評価し、今回ファイメクス社が実施した総調達額約 5.5 億円のシリーズ A ラウンドに、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：大泉 克彦）、ANRI4 有限責任事業組合（本社：東京都渋谷区、代表組合員：佐俣 安理）と共に参加し、199,953,600 円を引き受けました。

ファイメクス株式会社 概要

設立	2018年1月
事業内容	タンパク質分解誘導を機序とする新規医薬品の研究開発
本社所在地	神奈川県藤沢市
代表取締役	富成 祐介
連絡先	E-mail : info@fimecs.com



○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016 年 1 月には京都大学と民間企業からの出資を受け、同社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL：075-753-7588 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp